

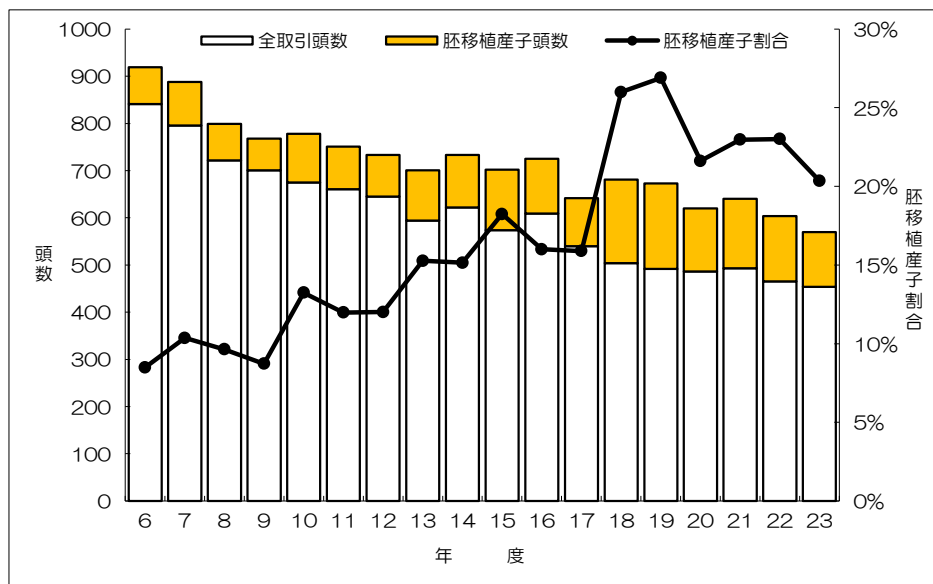
農家採胚における新鮮胚移植による和牛の増頭

当センターでは、和牛繁殖農家が減少し肥育素牛となる子牛が減少する中、乳用牛に和牛を生産させて和牛増頭を図るため、和牛胚の供給を行っています。

現在、京都府の和牛子牛せり市に占める胚移植産子の割合は全取引頭数の 20%以上を占め、胚移植は和牛生産において欠かせぬ技術となっています。

当センターは、中丹家畜保健衛生所と連携した新しい取り組みとして、長期不受胎牛*の受胎率向上に苦慮している酪農家 14 戸において和牛繁殖農家で採胚した新鮮胚を 76 頭の乳牛に移植したところ、43.4%と凍結受精卵や人工授精に比べて高い受胎率となりました。また、新たに 4 農家が新鮮胚移植に取り組みました。今後も、農家採胚での新鮮胚移植による受胎率向上と胚移植に取り組む農家の開拓を行い、乳牛の受胎牛を確保し和牛増頭を進めます。

※長期不受胎牛：3回以上人工授精しても妊娠しない牛



京都府の和牛子牛せり市（中丹家畜市場）の状況（平成 6～23 年度）